



市長の情熱宣言について

内藤 栄治 議員

問 ふるさと納税の倍増計画を達成するためどのような戦略を計画されているか。

答 現在、インターネット上に家具やインテリア製品を中心に、約800点を掲載していますが、人気のある商品がある程度つかんでおり、商品構成を毎年入れ替えています。また、寄付者の約8割が関東、関西方面など、調べて、見えてきた部分に特化し、戦略的に攻めていきたいと思っています。

問 教育についての市長の考えは。

答 子供を産み育てやすいまちなど、教育環境の整備を通じて、子供の笑顔であふれるまちづくりを行いたいと考えています。

意見 子供の教育環境整備については、子供が頑張り伸びるように大人が環境を整えることが一番大切だと思う。

問 インテリア産業の活性化は。

答 全国に大川家具の認知度の向上を図り、さらに、購入までつなげていく施策を展開し、適切な情報発信と受け入れ体制の整備が必要だと考えます。このことにより、大川家具のファンをつくり、大川家具を名指しで購入いただけるよう努めます。

問 地方創生推進交付金を活用した事業の進捗状況は。

答 国内と海外をターゲットとした事業で振興センターが事業主体です。国内では、たんすなどの長年培った技術を活用し、引き出しを特徴とする製品を開発し、東京都内で展示イベントを開催します。海外では大川の技術を集めて作成した和の空間をアメリカのロサンゼルスで開催される音楽の祭典グラミー賞のギフトラウンジへ出展します。地方創生の事業は、毎年検証することになっています。



倉重新市長の所信表明について

永島 守 議員

問 市長は将来都市像に人口減少率の高さを示し、人口抑制と人口減を前提とした市政運営が必要と言われるが、その具体策とは。

答 保育料の減額や特定不妊治療助成金の拡大など、子育てしやすいまちをPRし、さらに、本市を出られた方に戻っていただけるような施策を考えたいと思っています。

問 インテリア産業については、これまでの企業間の販路拡大に加え、企業対個人の振興策を進め、個人向けの情報発信、受け入れ体制の整備を図るとともに、農漁業では、収益性の高い農業の拡大やノリのブランド化等により人口減に歯止めが可能なように言われているが、農漁業者は後継者不足で廃業危機、全ての産業が低迷する中、雇用の安定確保や新たな税収を得るための企業の誘致、支援と育成など、安定した雇用にこそ住

民の定着はあるはず。企業誘致は進捗がないように思うが近況は。

答 企業誘致は重要と考えます。国道385号及び442号バイパスの新設、有着工でまちは刻々と変わってきており、自ら営業部長として可能性のある企業に対し、時代に合った商品を持参してトップセールスしたいと思っています。

問 職員は市民の財産、4年間の財産運用受託者は市長である。人事配置を誤れば市政運営に影響を与える。職員の適材適所、掲げた公約を守るも、破るも、また、外部登用・起用も市長の先見と物差し次第といっても過言ではない。

答 厳しい時代に本市を率いる事は、戦いに出る大将の気分。職員は多種多様な戦力であり、早い時期に職員と接し、副市長と適正配置に向け、摩擦を恐れずやっていきたいと肝に銘じています。



シティセールス事業について
市役所窓口に新しいサービスを
健診受診率向上について

川野 栄美子 議員

問 シティセールス事業は、地域産業の振興を図ることを目的としている。新市長になってトップセールスでやりたいことは。

答 首都圏のビルや商業店舗の開発を手掛けるディベロッパーへのインテリア製品の売込みなどです。

問 市職員にも多くのアイデアを出してもらうため、市長としてどのような指導を考えているか。

答 アイデアを引き出すには、職場は明るく活気にあふれていてほしいと思う。風通しのよい職場作りを心がけるとともに職員と意見を交わす場を少しでも多く設けていきたいと考えます。

問 高齢者が多く住む本市では窓口サービスを利用しやすいように例えば、死亡手続き等を行う場合、一目で分かる「おくやみ課」などがあれば安心して手続き等ができると思うがどうか。また、声が聞

き取りにくい方のため、骨伝導集音器を設置しては。

答 今後、市民目線で、高齢者、障がいのある方、子ども連れなどに配慮し全庁的な窓口サービスの向上を目指します。また、骨伝導集音器は、費用や効果、実情等を検証し、その他の方策も含めて研究をしたいと考えます。

問 本市のがん検診率は。

答 27年度の受診率は、胃がん5・4%、子宮がん25%、乳がん17・4%、大腸がん10・7%、肺がん12%で高くない状態です。

問 2人に1人が、がんにかかる時代。なぜ受診率が低いのか。

答 詳しく調査はしていないが、市民の声としては、健康だから、病気とわかると心配、忙しいから、詳しい情報を知らないからなどです。今後も検診やがんに関する基礎知識等の情報提供に努めます。



市立中学校再編計画の進捗状況と
今後の大川市における教育政策について

岡 秀昭 議員

問 市立中学校の再編計画の進捗状況と今後の予定は。

答 各校区での説明会を開催し、意見等は、HPや市報のほか、公共施設等の人が出入りする目立つところへ掲載し、広くお知らせしたいと思っています。今後の予定は、29年度に設計、30年、31年度の2年間で工事を予定しています。

要望 通学路の安全確保のために歩道整備や路側帯のカラー舗装、主要な交差点等の街路灯の設置も含め、この3年間での検討、対応を要望します。

問 今後の本市の教育政策は。

答 保・幼・小中連携の枠組みの中で、研究テーマを次期学習指導要領への対応や、学校再編に向けた課題への対応のいずれかを選択し、研究を行うとともに、国が進める小中一貫教育を本市に合ったスタイルで推進したいと考えます。

問 教職員のスキルアップについて、50代の教職員の割合が高くなってきているようだが、将来を考えながら人材育成を急ぐ必要は。

答 中学校は、学校再編問題もあり、ここ3年間、新規採用はないが、小学校は、4人単位で採用しており、随分と若年化しています。特に小学校は、40人を少し超える場合、保留がかり2クラスになっても1人は正式な教員が配置されずに、講師での対応となるため、なおさら若くなる現状にあります。このため、様々な場で人材育成の計画を立て、OJTなどの研修に取り組んでおり、その成果も上がっている状況にあります。

問 本市の教育プログラムに対する教育長の抱負、希望は。

答 教育委員会で承認を得た私の夢である木の香プランを32年度スタートで進めていこうと思います。